



# 平成29年度の気象台長の市町長訪問

## 平成29年度に訪問した22市町

7月	河津町、西伊豆町、松崎町
8月	袋井市、磐田市
10月	掛川市、湖西市、焼津市、御殿場市、熱海市、伊東市
11月	浜松市、清水町、長泉町
12月	函南町、裾野市、富士宮市、小山町
1月	牧之原市
2月	富士市、南伊豆町
3月	下田市



気象台長（左）と富士宮市長（右）



ホットラインについての説明ビデオを見る  
牧之原市長（右から2人目）と防災担当者  
右端は気象台長

### 概要：

気象台では、市町との「顔の見える関係」を構築し、地域の気象防災に関する共通認識を得るとともに、気象台が提供する様々な情報に加えて緊急時には直接危機感をお伝えることなどにご理解を得るために、気象台長自らが市町長を訪問させていただき取り組みを進めています。

訪問に際して、気象台長からは大雨等により重大な災害の起こるおそれが高まっている場合に「ホットライン」で危機感をお伝えすることや、大雨警報の危険度分布などのメッシュ情報の提供開始など、気象情報の改善についてご説明するとともに、市町長からは自治体の防災・減災への取り組みなど貴重なご意見を伺うことができました。

ご対応いただきました市町の担当者の皆様、ありがとうございました。

平成30年度以降も気象台長の市町長訪問を続けていきますので、よろしくお願いいたします。